

### スローガン

1. 下水道による残業務の安定的継続のため、合理化事業計画の推進、転換業務の獲得
2. 下水道に接続されない浄化槽（合併）の社会的地位の確立
3. 新浄化槽管理システムの推進
4. 浄化槽（合併）を併用した農業集落排水処理業務事業計画の実現
5. 市町村の責務である一般廃棄物処理計画の策定推進
6. 一般廃棄物収集運搬業務の責任業務の遂行

# 広報 福島環境整備連

発行  
福島県環境整備協同組合連合会

住所/いわき市内郷高坂町大町138番地2  
TEL 0246-27-8818 FAX 0246-27-8813

発行者 岡 光義  
編集責任者 瀬戸崇志



令和4年度  
通常総会

## 新型コロナウイルス感染防止に 努め講習会事業等を実施

本会は、5月27日に郡山市の「郡山ビューホテル」において、新型コロナウイルス感染防止に必要な対策を講じて、令和4年度通常総会を開催した。組合員約50名が出席。柳沼宏氏（中央清瀬商）の司会進行により、猪俣副会長の開会挨拶の後、岡会長から『コロナ禍になって3年目を迎えるが、これからは感染予防対策を講じて、徐々にコロナ禍以前のような事業活動が出来るように努めたい』と挨拶がなされた。議長に本田光兵氏（商大瀬清掃社）を選任し審議に入った。令和3年度事業報告、収支決

算並びに剰余金処分案について執行部から報告され、長屋監事による監査報告がなされた。審議の結果、それぞれ原案どおり異議なく可決決定された。続いて、令和4年度事業計画（案）について執行部から説明があり、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、設立60周年記念式典の外に十分な事業活動が出来なかったため、本年度も13本の主要事業を提案した。また、委員会事業においても、昨年同様の活動計画を掲げた。令和4年度事業予算（案）では、事業計画（案）に基づき、



一般管理費を含めた予算総額1749万2千円を提案した。次に、議案第5号賦課金の賦課及び賦課徴収方法決定の件について執行部から説明があった。今年度も、新型コロナウイルス感染症がどの程度事業運営に影響を及ぼすかは不明であるが、令和4年度第1回理事会において、例年同様に予算計上し、賦課金徴収方法を昨年同様に分割徴収とすることが承認された旨の説明があった。固定費相当額を1割分として徴収し、予算の執行状況を確認しながら期目の請求をするか判断する。また、取引先賛助会員、福島県清掃事業協議会賛助会員につい

ては、例年同様一括徴収とする旨の説明があり審議の結果それぞれ異議なく可決決定された。審議終了後、瀬戸青年部長から青年部活動報告がなされ、山川副会長の閉会挨拶で総会を締めくくった。総会後、18時から2年ぶりに懇親会が開催され、テーブル間隔を広めに取り、パーティションを設置、こまめな手指消毒等の対策を講じて懇親を深めた。

## 第1回青年部研修会

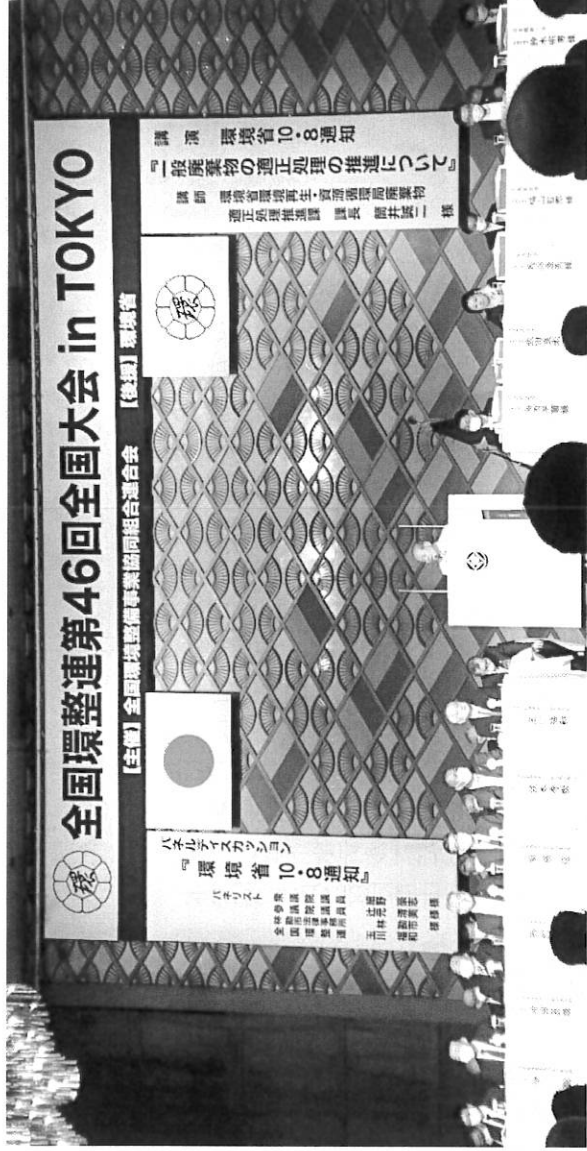


青年部は、令和4年9月22日、いわき市環境会館会議室において、青年部研修会を開催した。8名が参加して、本会の情報事業であるホームページの運営、活用について研修を行い、事務局から詳しい説明があった。【基本的な運用について】◆事務局：更新等を行う「総会・三役会議・理事会・各種講習会・研修会の開催状況、固定ページの修正・変更等、本会活動計画の登録等」◆青年部員：更新等を行う「青年部総会・研修会、青年部が所属している各委員会の開催状況、青年部・委員会からの情報の発信・活動計画の登録、青年部が所属している組合・会員各位が開催した研修会報告等（\*ホームページに掲載する内容については、専務理事の承認を得ること）

この日は、実際にホームページにログインして、カテゴリー別に入力を行った。まず、活動計画は活動名、日時、場所が決定していれば、比較的容易に登録ができるため、マニュアルを見ながら掲載してもらった。次に、ホームページ中段左側の【NEWS】に、更新マニュアルに沿って確認しながら開催中である青年部研修会の様子の記事を掲載してもらった。事前に撮影した写真をパソコンに保存して、投稿の題名、日時、場所、表題とその内容を文章に組み立てて入力する。そのため、研修会や会議等に実際に出席する人が撮影、文章、写真の選択をした方が、より内容が伝わり易く、期間を開けずに投稿できるのではないかの意見があった。また、掲載内容を文章にする際には、言葉どおりに表現

すればよいが、とても難しいとの感想があった。しかし、さすがにパソコンの操作に慣れている部員の皆さんなので、詳しい説明がなくてもさくさくと更新、掲載が出来た。今後は、青年部員もホームページの運用出来るようにしておこうと、所属員が情報発信をしたい時に、青年部員に相談して了承を得てホームページに掲載出来るようになれば、活用の幅が広がると思われる。今回出席が叶わなかった部員の方にも、マニュアルを所望してもらい、また、青年部総会の際に多くの部員に周知していただいで、今後のホームページの活用に役立て頂きたい。研修会の前段には、第1回総務委員会が開催され、今回の広報紙の発行準備として、内容の確認や記事の誤字脱字のチェックを行った。

# 全国環境整備大会 in TOKYO



全国環境整備第46回全国大会 in TOKYO

【主催】全国環境整備事業協同組合連合会 【会場】環境省

講演 環境省10・8通知  
「一般廃棄物の適正処理の推進について」  
講師 環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様  
環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様  
環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様

パネルディスカッション  
「環境省10・8通知」  
パネリスト  
全国環境整備事業協同組合連合会 代表理事 佐藤 隆 氏  
環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様  
環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様  
環境省環境再生・資源循環政策課長 櫻井 一 様

令和4年8月2日、東京都のホテルニューオータニにおいて、全国環境整備第46回全国大会が開催された。本会からは19名が参加。当初51名の参加登録があったが、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念され、当日は出席者が大幅に減ってしまった。第46回全国大会は、1日に集約して表彰式・講演、

### 優良役員表彰

(協業) 福島県南環境衛生センター  
藤田 周一 鈴木 達也

### 優良従業員表彰

\*勤続20年の部\*  
会津清掃(有) 小林 勇雄 皆井 武史  
大堀 健一 目黒 正人  
帆刈 成晃 遠藤 喜恵子  
飯村 雅彦  
(有)クリーンハズ 金成 隼子 中村 薫

方針・本会議等が行われた。「一般廃棄物の適正処理の推進について」と題して、環境省環境再生・循環資源局廃棄物適正処理推進課長の講演があり、「環境省10・8通知」をテーマにパネルディスカッションが行われた。次回開催予定地は、今後検討される。

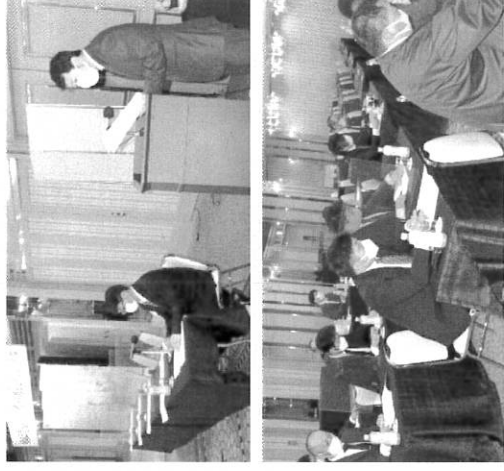
勿来清興(株) 小峰 寿行 今井 洋一  
いわき市環境整備事業協同組合 遠藤 美香 榎田 勉  
市川 正晃  
\*勤続15年の部\*  
(協業) 福島県南環境衛生センター 菊池 八千代  
大同特殊開発(有) 田代 勝男 (敬称略)

## 令和4年度 青年部定時総会

本会青年部は、5月27日に郡山市の「郡山ヒューホテル」において、第42回定時総会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、ソーシャルディスタンスを確保し、出席者13名、オブザーバー2名、委任状出席

9名で開催の運びとなった。副部長の白水和也氏(有昭和衛生)の司会進行により、議長に本田光英氏(有大海清掃社)が選任され議事に入った。令和3年度事業報告承認の件、並びに収支決算承認の件、令和4年事業計画(案)承認の件、並びに収支予算(案)承認の件について審議し、異議なく可決承認され全審議を終了した。

- 新入部員 ●  
南会津環境整備協業組合 白俣善環(株)  
長谷川 将司 氏  
個人会員 (有)熱海清掃社 大内 駿輔 氏



## いわき市環境整備事業協同組合 創立50周年記念式典開催

令和4年7月2日、「いわきロシントンホテル椿山荘」において、本会会長が代表理事を務めるいわき市環境整備事業協同組合が、創立50周年記念式典・記念誌発刊祝賀会を開催した。

県内外から、延べ140人の方々にご出席頂き、いわき市長、いわき市議会議長をはじめ、関係団体のご来賓の方々より沢山のご祝辞を頂いた。

式典では、組合功労者・優良従業員への表彰、記念品贈呈が行われ、記念誌発刊祝賀会では、プロの歌手と演奏家をお招きして、小さな音楽会を開催した。

今後とも、組合員・職員一同、生活環境保全と公衆衛生の向上に尽力して参りますので、県環境連の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。



## モアコンパクト型浄化槽に関する講習会 I

第1回 福島会場  
ビッグパレットふくしま

令和4年11月22日(火)

主催：(公財)日本環境整備教育センター  
実施期間：福島県環境連

## ポリテクセンターを活用した電気設備講習会

in ポリテクセンター福島会場

令和4年10月21日(金)、22日(土)

測定機器を実際に使用し制御部品を分解して回路を実際に制御し実習を行いながら普段の仕事に活かせる知識・技術・技能を習得します

\*福島会場近隣の会員各位へ照会の講習会

### お悔やみ

本会理事 北会津清掃(有)代表取締役 古田泰助様が7月10日不慮の事故により急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。